

Pick Up News 建築学科の通信を月間で発行することになりました。創刊号となります。学科の「今」をダイジェストでお伝えしていきます。さて、新年度がスタートしました。145名の新入学生、11名の大学院生を新たに迎えました。昨年を振り返ると、建築学科創立50周年という大きな節目で、卒業生・社会・企業・学生、そして学科とが新たなつながりをつくった一年でした。昨年度(今春)の建築学科卒業生就職も好調で就職率100%となり、いい締めくりができました。今年度の就職戦線も3月よりスタート。4年生はまさに今、就活まっただ中にあります。新入生は入学後、全員での「まち歩きワークショップ」の実施、グループでの作業などを経て、徐々に大学生活にもなじんで来たようです。学科学生全員の飛躍の一年になればと思います。



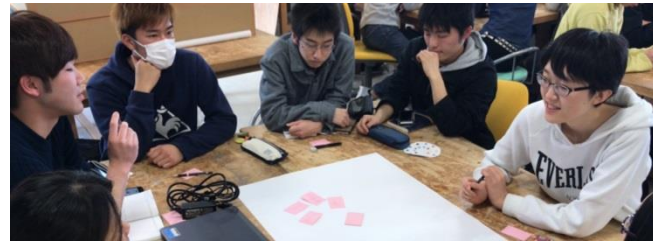
1年生 建築講演会(2017/04/06)



3年生 尚建会(建築学科同窓会)奨励賞:成績優秀者表彰(2017/04/05)



1年生 建築ワークショップ後の記念撮影(2017/04/07)



1年生 建築ワークショップまとめ作業(2017/04/14)



パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ建築大学大学院生との交流(2017/04/11)

Pick Up Lab. 今年度、石井研究室は大学院生3名、4年生10名でスタートしました。福祉施設や福祉居住環境の計画研究室です。設計と論文希望者がおおよそ半々の構成です。先日は、地元八木山にある介護施設「エバーグリーンヤギヤマ」さんを訪問して、施設見学をさせていただきました。同施設を設計した本学科OBにも来ていただき、施設計画の特徴を直接伺いました。介護と空間とのつながりについて深く学ぶ機会となりました。研究室活動では、教科書で学んだことを実感し、体感する機会を多くつくりたいと考えています。やることをしっかりやった上で、自由に楽しく、そして自主的に動いてもらえたら、と考えています。



4年 林 瑞紀くん
仙台城南高校出身

Pick Up Student 私が建築学科に入ってよかったと感じていることは、たくさんの人と関わる機会が増えたことです。友人や先生、留学生と関わることでたくさんの価値観や建築の知識、文化を学ぶことができました。楽しいことばかりではなく「課題の量」という大変さも建築学科にはあります。その大変さを乗り越えられたのは友人との協力があったからだと思います。一人で課題に取り掛かるよりみんなと一緒にやることで大変さを乗り越えられたと感じます。将来は、高齢者施設の居住環境についての研究を行い日本の社会問題について、建築という分野から貢献したいと考えています。



2年 菊池 茉奈さん
仙台三桜高校出身

Pick Up Student 建築が学びたくて工大建築学科に入学してから1年がたちました。この1年を振り返ると充実した時間を過ごすことができたと感じています。建築の勉強は初めてのことが多くワクワクしました。できるだけ多くのことを経験したくて、課外活動、設備見学、体験教室、インターンシップなどに積極的に参加してきました。特に課外活動やインターンシップでは大変なことも沢山ありましたが、楽しく活動できました。私は「教えられる」、「参加させられている」と思いながら学んでも面白くないし、それだと苦痛に感じるだけだと思います。せっかくならポジティブに行きたいと考えています。私が充実した時間を過ごすことができたのは何をしても「楽しもう!」とする考えがあったからだだと思います。これからも積極的に、楽しく学んでいきたいと思っています。